若年雇用対策の政策評価 ～ジョブカフェを例とした自然実験アプローチ～

神戸大学 経済学研究科 講師
田中喜行

(要旨)

本稿では、2000年代中盤より始まった若年層への積極的労働市場政策であるジョブカフェについて政策評価を行った。具体的には、総務省『労働力調査』の月次個票データを用い、ジョブカフェの開所時点の違いを利用した DID 推定 (Difference-in-Differences)に加えて、若年層とそれ以外の違いを利用した DDD 推定 (Difference-in-Difference-in-Differences)により政策の因果的効果を検証した。その結果、早期にジョブカフェを開所した都道府県において、有意に雇用者数が増加することが確認された。さらに、とりわけ若年者層においてその効果は大きいことを確認した。